

出雲市の火災統計と火災を防ぐ9つのポイント

出雲市では、令和元年中に **44件**の火災が発生しました。

その内訳は、

建物火災 25件

林野火災 4件

車両火災 2件

その他火災 13件



でした。

10年前（平成22年）は73件ですので、約**40%減**っていますが、少し注意するだけで防げた火災も多く見受けられました。

次に、皆様の生活に影響の大きい、住宅火災を起こさない**9つのポイント**を、紹介します。

①コンセントは、たこ足配線をしない、コードは束ねず家具などの重量物の下敷きにならないよう使用する。

・・・発熱によって配線が焼けてショートを起こしたり、断線することにより火災となる場合があります。

②使わない電気機器はプラグを抜いておく。プラグは、年に1度は清掃する。(トラッキング現象の防止)

・・・プラグのトラッキング現象とは、コンセントに差込んだプラグの周辺に綿ぼこりがたまり、このぼこりが吸湿することによって、差し込みプラグの刃の間に電流が流れ、微小な火花放電が繰り返されることにより、絶縁樹脂表面に炭化伝導路が形成され発火する現象です。

※コンセントに電気が通っていれば起こり得ますし、ブレーカーが落ちないので、とても危険です。

③長年使用している電気製品は、異常の有無を点検しましょう。

・・・電気製品には寿命があります。異音や誤作動がそのサインとなることがありますので注意が必要です。

④ストーブやこたつで洗濯物を干さない。ファンヒーターの吹き出し口に可燃物やスプレー缶などを放置しない。

・・・ストーブの上で洗濯物を干すと、時間とともに水分が蒸発し、軽くなっ

た洗濯物がストーブの上にはずり落ちることで火災になることがあります。

- ・・・灯油を使用するストーブに、誤ってガソリンを給油し使用したため火災になることがありますので注意しましょう。

⑤灰皿には水を入れる。寝たばこはしない。

- ・・・全国では、常に火災原因の上位に入ります。たばこを揉み消すのではなく、水を入れた灰皿を使用しましょう。

⑥ガスこんろの周りに物を置かない、そばを離れる時は火を消す。

- ・・・出雲市で一番多い火災原因です。ガスコンロの火が着衣に着火して大やけどを負うことがあります。また、ガスコンロを使用中に来客や電話があると、そちらに気を取られやすいので、その場を離れるときは、特に注意しましょう。

⑦燃えやすい物は外に放置しない。

- ・・・未然防止のため、放火させない環境づくりが大切です。

⑧白熱電灯・蛍光灯の近くに衣類や寝具を置かない。

- ・・・点灯中の白熱電球の温度は高温となっているので、接触による火災に注意しましょう。

⑨地震、風水害時の火災等防止対策として、避難する前にアンペアブレーカーを切り、電気に起因する火災の発生を防止しましょう。

・・・停電が復旧した際、ブレーカーが入っていると、災害前まで使用していた電気製品に電気が供給されます。それにより、電気製品に起因した火災が発生することがあります（通電火災と呼ばれている）。

令和2年度全国防火標語 「その火事を 防ぐあなたに 金メダル」